

令和6年度 大田区立相生小学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

令和6年 * 月 * 日

開校は大正15年、今年で99年目を迎える歴史と伝統のある学校である。学級数12、児童数285名である。

本校の特色

○健康でたくましい心と体の育成を目指して、体育の授業改善や体育的活動（①放課後ランニングタイムの設定、体力向上週間における運動奨励など）の充実を通して児童の体力向上及び教員の指導力を高めていく。

○確かな学力の向上を目指して、①日常的なスピーチ活動の推奨②学年別少人数放課後補習日の設定及び家庭と連携した参加要請等に取り組み、基礎・基本の確実な定着、読解力、コミュニケーション能力の向上及び教員の指導力の向上を目指す。

○豊かな心の育成に向けて、教職員の指導の共通化を図るために、あいおいの子(学習・生活における主な約束事)を基に、全学年・全学級で規範意識や人権意識を向上させる学習や活動を行うことで、児童が安全・安心で、落ち着いた学校生活が送れるようにする。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄		
								評価	人数	コメント
生予個 き測別 る困目 力難標 をな1 育未 成来 し社 ま会 すを 創 造 的 に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		予測困難な未来社会を創造的に生きる力の育成に関する児童アンケート(複数の設問)において、AとBの合計の割合について、以下の通り評価する。	4:			A	
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3:				
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		どちらも85%以上であれば「4」				3:	
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		どちらか一方が85%以上であれば「3」					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		どちらも70%以上85%未満であれば「2」					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		どちらも85%未満であり、一方が70%未満であれば「1」	2:			C	
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
					1:				D	
お世個 お界別 たと目 をつ標 担な2 うが る人 材国 を際 育都 成市 します	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		外国語活動に関する児童アンケート(複数問)において、両設問のAとBの合計の割合について、以下の通り評価する。	4:			A	
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3:				
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		どちらか一方が85%以上であれば「3」				3:	
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		どちらも70%以上85%未満であれば「2」					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		どちらも85%未満であり、一方が70%未満であれば「1」					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄			
								評価	人数	コメント	
	域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		2:			C			
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
							1:		D		
た一個 め人別 の目標 基礎3 とが個 なる性 力と能 育力を 発揮す る	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		4:			A			
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべてのこどもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		3:			B			
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		2:						
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		1:				C		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		ランニングタイムなど、体力向上のための取組の意義を積極的に児童へ啓発する等適切に実施する。	4:全教員が意義を理解して行った。							D	
			3:80%以上の教員で行った。								
			2:60%以上の教員で行った。								
			1:60%未満であった。								

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄			
								評価	人数	コメント	
学 校 別 力 目 標 ・ 教 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		学校力・教師力の向上に関する児童アンケートと保護者アンケートにおいて、肯定的回答であるAとBの合計について、以下の通り評価する。	4:			A		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		どちらか一方が85%以上であれば「3」	3:		B			
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。		どちらも85%未満であり、一方が70%未満であれば「1」	2:		C			
			3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。								
			1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。								
						1:		D			
た 自 個 め 分 別 の ら 目 標 ・ 学 び く い き 支 援 し ま す と 生 き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		すべての児童が、自分らしくいきいきと生きるための学びの支援に関する児童アンケートと保護者アンケートにおいて、肯定的回答であるAとBの合計について、以下の通り評価する。	4:			A		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。		どちらも85%以上であれば「4」	3:		B			
			3:80%以上100%未満の教員が回答した。								
			2:60%以上80%未満の教員が回答した。								
			1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		どちらも85%未満であり、一方が70%未満であれば「1」	2:		C			
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
						1:		D			

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄		
								評価	人数	コメント
安心・安全・個別教育環境の学習空間と安全・柔軟な創造的環境をつくり出す	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		柔軟で創造的な学習空間と安全・安心な教育環境に関する児童アンケートと保護者アンケートにおいて、肯定的回答であるAとBの合計について、以下の通り評価する。	4:		A		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		どちらも85%以上であれば「4」 どちらか一方が85%以上であれば「3」 どちらも70%以上85%未満であれば「2」	3:		B		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
					どちらも85%未満であり、一方が70%未満であれば「1」	2:		C		
						1:		D		
地域・学校・家庭・地域が連携・協働による	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		地域コミュニティの核としての学校づくりに関する保護者アンケート(複数)において、肯定的回答であるAとBの合計について、以下の通り評価する。	4:		A		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		どちらも85%以上であれば「4」 どちらか一方が85%以上であれば「3」 どちらも70%以上85%未満であれば「2」 どちらも85%未満であり、一方が70%未満であれば「1」	3:		B		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			2:		C		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							
						1:		D		

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
 ○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄
							評価 人数	コメント

○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す